

新聞を活用して！

10/14（金）の中国新聞朝刊に、右の記事が掲載されました。海田西小学校では、継続的に新聞を活用した取組を行っております。毎週水曜日には、「NIEタイム」で、新聞記事を読んで、感想を出し合ったり、自分の意見をまとめたりして活用しています。毎週のことです。1回あたり15分程度の短い時間ですが、小学校6年間で身に付く力は、大変大きなものとなっていきます。以前お知らせしましたように、「全国学力・学習状況調査」では、毎年全国平均より10点程度上回っております。毎日の生活では、なかなか実感することはできないかもしれませんが、5年後、10年後に大きな力となってくれるものと信じております。単なる通常のテストの点数には

表れない「読解力」「思考力」「表現力」もあります。こういった討論や友達の意見を聞き合うことで、自分の考えを見直したり、考えが変わったりします。本校が取り組んでいる「探究的な学習」とは、こういった学びが大切です。最近では、なかなか新聞をとる御家庭も少なくなっていますが、「小学生新聞」などでも構いませんので、日頃から活字に親しみ、また、親子でニュースなどについて意見を交換することで、更に子供の観察力が伸びていきます。ぜひ、御家庭でもお取り組みいただければ幸いです。

こういった取組を保護者の方にも見ていただきたく、

「NIE学習発表会」を11月4日（金）に開催します！

コロナ禍での発表会ですので、昨年度と同様、各学年ごとの発表になる可能性があります。詳細は、またお知らせいたしますので、ぜひお越しください。

11月1日～7日は、「ひろしま教育ウィーク」となっておりますので、御来校いただき、子供たちの姿をぜひ、御覧ください！

また、10月21日（金）には、「海田西小学校公開研究会」を開催し、他校の先生方に本校の取組を公開する行事があります。こういった取組を海田町内外の先生方にもご

優れたNIE（教育に新聞）活動を表彰する広島県NIE推進協議会の「県NIE教育奨励賞」で、10月、最優秀奨励賞（1等）に選ばれた海田西小（海田町）。授業や学習発表会に新聞を活用する学校ぐるみの活動で、学力向上にも一役買っている。今月上旬、3年生の総合的な学習の授業。町内の各所を一望に眺めた児童たちに担任の大西幸子教師（34）が「字宙の成長が生きる、こんな記事があるよ」と新聞の切り抜きを配った。町が江戸時代の幹線「西国街道」を案内する「もみガイド」の養成を始めなどの記事。大西教師は「みんな何かが期待されているかな」と問いかけた。そこへ、サブライズで町職員が登壇。「町の魅力をどう発信したいか、みなさんのアイデアを教えてください」と呼びかけた。「行きたくなる町内の名所をランキングにしては」「手作りの新聞で紹介す

新聞記事を参考に、地元の魅力を発信する方法を話し合う海田西小の児童

「のぼが、毎週水曜の始業前には全校一斉の「NIEタイム」を設ける。記事を熟読で感想を書いたり、グループで意見を伝え合ったりする。3年草本夏樹さん（9）は「新聞記事はまだ知らないことが発見できる。私たちが発信する時の参考にもなる」と話す。

2013年度からNIEに取り組み、同校、ことしの全国学力テストでは、国語の正答率が全国平均を10%以上上回った。三田連行校長（59）は新聞を活用することで、読解力や表現力を磨かれていると実感している。今後とも新聞のさまざまな活用方法を考えたい」と力を込める。（井田一）

を

覧いただき、御講評をいただくことにしておりますので、お知りおきください。

ニュース5・7・5

本日までに、44句の応募がありました。季節の変わり目は、俳句のネタも多く転がっています。ぜひ、御家庭でも、季節のお話や5・7・5の俳句作りにも挑戦してみてください。今回は、次の5句を中国新聞に応募します。

| | | | |
|--------------------|----|------------------------|-----------------------|
| 秋にはね どんぐりあるよ きれいだな | 2年 | <small>もりまつ</small> 森松 | <small>みほろ</small> 美幌 |
| あいさつは 元気になるよ がんばろう | 3年 | <small>ながしま</small> 長島 | <small>みく</small> 美来 |
| 秋にはね いろいろな色の 葉があるよ | 3年 | <small>くさもと</small> 草本 | <small>かほ</small> 夏帆 |
| 秋になり セーターを着て あったまる | 3年 | <small>ほんだ</small> 本田 | <small>りりあ</small> 莉愛 |
| ウミホタル 星みたいでさ きれいだな | 5年 | <small>かがわ</small> 香川 | <small>あおと</small> 蒼翔 |

校長の真面目な子育て日記②②

毎日、朝晩はすっかり寒くなってきましたね。季節の変わり目には、調子を崩す人も多いです。保護者のみなさんもお体にはくれぐれもお気を付けてください。ただ、秋は、過ごしやすい季節です。好きな季節で「秋」と答える人に聞いてみますと、服が自由に選べるとか、食欲の秋、読書の秋、暑くも寒くもないのが良いなどいろいろですね。子供たちも、学習に身を入れることができる時期です。学校では、今回ご紹介しましたように、新聞を取り入れた学習を行っています。また、「探究的な学習」によって、子供たちの考える力や発信力を高めています。もともと「探究的な学習」とは、

「教師の一方的な発問に回答するのではなく、児童が自分自身で課題（問い）を立てて、その答えを出したいという「探究心」を大切に、課題を解決していく学習」です。そのため、「児童の主体性」をいかに引き出せるかが重要なキーワードになってきます。現在、小・中・高等学校でもそれぞれの子供の実態に合わせて、取り組まれています。どの学校でもいかにして児童が課題（問い）を自分自身の課題として取り組んでいくかを試行錯誤しながら研究しています。本校では、昨年度から、この教育方法に取り組んでおり、10/21には、研究の一端を公開するものです。教員自身も、いかにして子供たちが主体的に学び、分かりやすい授業を創り上げていくかを研修しているのです。通常の授業以外に研究をしているので、先生たちも大変ですが、自身の教育技術の向上や、何よりも子供たちが生き生きと授業に取り組む姿を追い求めて頑張っています。

話は変わりますが、保護者の皆様は、自身のお子さんの宿題や勉強をどの程度御覧になられていますか？すべての授業の進度を把握するなんてとても無理ですが、教科で何を学んでいるか、それとなく子供と話してみると良いと思います。たまには、児童の使っている教科書もご覧ください。親世代の教科書とはずいぶん変わってきていると思いますよ。巷では「デジタル教科書」なるものが登場し、次世代のツールになりそうです。学校では、9月から電子黒板を使い始めました。デジタルの効果を活用しながら、紙媒体での学習を進めていきます。このことについては、またお伝えしていきますね。